

## 第2次所沢市保健医療計画（案）

### パブリックコメントに対する「ご意見と市の考え方」について

---

第2次所沢市保健医療計画（案）のパブリックコメントにつきまして、皆様から寄せられたご意見の内容とご意見に対する市の考え方を公表します。

ご意見をいただきました皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

令和 2年 3月 6日  
所沢市健康推進部 保健医療課  
電話: 04-2998-9385  
FAX: 04-2998-9061  
E-Mail: a9385@city.tokorozawa.lg.jp

#### 1. 意見募集の概要

- (1) 募集期間 令和2年1月10日（金）～1月31日（金）
- (2) 意見受付 直接持参、郵送、FAX、電子メール、電子申請

#### 2. 募集結果

- (1) 応募件数 3件（個人2件 法人1件）
- (2) 意見の件数 11件

第2次所沢市保健医療計画(案)に対するご意見と市の考え方

No.	ページ	部	章	節	項目	意見（原文ママ）	市の考え方
1	99	2	2	3	【コラム】自殺の危機経路	線の種類が色々ありますが、各線の意味を記したほうがよくな *****	「自殺の危機経路」図の線につきましては、点線から3種類の太さの実践、計4種類が示されております。点線から実践が太くなるにつれ自殺に至る要因が強くなることを意味しております。
2	135	2	4	1	【コラム】年に1回は健診を受けて、健康状態を確認しましょう！	私の認識の誤りでしたら申し訳ございません。 「年に1回は健診を受けて、健康状態を確認しましょう！」とありますがあれは年に何度も受けられるものなののでしょうか？（割引の価格で）。 → 毎年度1回必ず健診を受けて、健康状態を確認しましょう！等へ。	本市では、国民健康保険加入の35歳以上の方及び後期高齢者医療制度にご加入の方に医療センターの人間ドックへの助成【制度を利用されない方には「30歳代健診（30歳から39歳）」を行っています。助成につきましては年に1回となります。また、国民健康保険に加入の40歳から74歳までの方を対象に「特定健康診査」、後期高齢者医療制度に加入の方に「後期高齢者健康診査」を実施しています。
3	—	2	1	1		行政、医療機関等、住民や地域団体の連携と協力が有効にして、不可欠。どのように関係や機能を構築していくか。これらの組織のつながりをつくり、「住民の健康に気遣う大きな塊にしていくこと＝ヘルスプロモーションのまちづくり」関係団体、関係者で知恵を集めて、「市民まるごと健康づくり都市宣言」を。健康づくり活動等情報共有、関係者での調整会議など機構づくり(虐待防止のような連携組織をイメージ)、広報、交流センター(ヘルスプロモーションの拠点)、年1回程度は関係機関や 住民団体を一堂に会した交流会議の開催など。	健康づくりに関しましては、地域と連携した健康をテーマとする講演会、講座、教室などの実施や保健師地区活動により、市民の実態を伝え、生活習慣病予防の必要性を周知、各地域で開催されている「子育てネットワーク会議」「あったか懇話会」などに参加し、地域と連携・情報共有を図っているところですが、今後も、行政、関係医療機関、関係団体をはじめ、地域とも連携を強め、推進に努めてまいります。
4	—	2	1	1		米軍所沢通信基地の外周では、朝や休日など住民がウォーキングやジョギングをしている姿が見られる。1周約1時間でウォーキングとしては手ごろだ。また、航空公園のジョギング・ウォーキングコースも利用者が多い。しかし、市内各地にそうした環境が整備されているわけではない。それぞれの日常生活圏域にウォーキングコース(歩道拡張などで)を整備し、こうしたとりくみを促進したらどうか。一定の環境整備をすればそれを活用してとりくみをする住民も増えるだろう。この部分は環境整備に一定の時間と費用がかかるため、まちづくり計画に反映させてはどうか。	所沢市総合計画の目標の一つである「元気でいきいき 健幸(けんこう)長寿のまち」―「歩いて」「楽しんで」感じる健康長寿―の実現を目指し、すでに取り組みを開始している「健幸マイレージ事業」等を充実することで、多くの市民が気軽に取り組める「歩くこと」を中心に、今後も、健康づくり・体力づくりの推進を図るため、関係部署や関係団体が連携して取り組んでまいります。
5	—	2	1	1		市役所食堂で、減塩食、カロリー制限食など、健康メニューの「お試し」ができるメニュー開発にとりくむのはどうか。またできれば、「お試し」メニューと連動した料理教室なども開催できると健康食の普及がすすむのではないかと。市役所食堂がむずかしければ、そうしたとりくみに協力してくれる店舗を募るのはどうか。あわせて、住民・団体等が開催する健康メニュー料理教室を支援して各地で開催できるようにするのよいだらう(申請でのレシピ提出による「市公認」を認定して、一定の補助をするなど)。	本市では、管理栄養士監修の『健康レシピ』の周知や「所沢市公式キッチン」をクックパッドに開設し、健康を意識したメニューの取り組みを行っています。また、住民・団体等からの依頼教育において、健康メニューの料理教室を実施しています。いただきましたご意見を参考に、今後も、食育の推進が図れるよう努めてまいります。

第2次所沢市保健医療計画(案)に対するご意見と市の考え方

No.	ページ	部	章	節	項目	意見（原文ママ）	市の考え方
6	—	2	1	2		<p>保健予防では、精神分野も重要。とりわけ、認知症、統合失調症をはじめ、うつ、適応障害や引きこもり・不登校など前兆的・境界領域的な状態も含めて不健康状態がかなり広まっている。しかもそれらは若年層も含めて広がっている。コミュニケーション障害とも言える状態ではないかと思われる。</p> <p>実態把握。受診や相談のないうつ、適応障害、引きこもりなどは相当多数あるのではないか。学校、介護(要介護者の同居家族に多いとケアマネージャー等からの指摘もある)などさまざまな分野との連携も必要。</p> <p>この部分でも予防については住民の参加が必要不可欠。認知症予防も大事だが、コミュニケーション障害とも言える全世代に広がる不健康にも目を向ける必要がある。多世代型の費用のかからない、かまえずに立ち寄れる「居場所」(地域の気軽なコミュニティ)づくりを促進していく必要がある。空き家・空き教室利用などを含めて多様な行政支援を検討していくことが必要ではないか。住民や団体等のとりのくみの交流も行政として行っていく必要ではないか。(情報交流とりのくみ交流、相談や支援)</p> <p>また、関連して関係行政機関での精神保健分野の専門家の育成・配置が不足しているとの指摘も関係事業(介護など)からの指摘もある。臨床心理士なども一定の配置が必要となるだろう。</p>	<p>精神保健に関しましては、教育センターでの教育相談室や精神保健福祉士による相談業務、支援事業、市町村としては全国初となる「精神障害者アウトリーチ支援事業」では専門職チームに臨床心理士を配置し支援を行っております。いただきましたご意見を参考に、今後も実態を十分把握するとともに、地域や関係課、関係機関とも連携しながら推進を図ってまいります。</p>
7	—	2	2	1		<p>年1回の健康診断受診 所沢市での特定健康診査については健診内容の充実が必要。とりわけ血液学的検査、心電図や胸部レントゲン検査(心胸比を含む)はレギュラーコースとして実施する必要がある。ウイルス性肝炎検査も一定期間で実施するのが望ましいのではないか。また、都内自治体などでは国保加入者は特定健康診査は受診料無料が多いのに、所沢市では受診料800円かかる。これでは受診率向上にはならない。広く成人病等に対応した豊かな内容として国保加入者が無料で受診できるようにすべきではないか。</p>	<p>健診の受診率向上につきましては、検査項目の充実や自己負担額の無料化は有効な手段と考えておりますが、特定健診の対象者は40歳から74歳までの方のみであるため、受益者負担の考え方からも健診に係る費用の一割程度をご負担いただいているところでございます。また、今後の高齢化などによる国保の厳しい財政状況も踏まえて、多くの方が受診しやすい検診となるよう考えてまいります。</p>
8	—					<p>がんを含む成人病(生活習慣病)においては、その予防において労働も含めた日常生活の改善が有効とされている。また、早期発見をし定期的に疾患管理がされていれば、合併症や重篤化が防止される可能性が高まる。</p> <p>この計画において、予防と早期発見については計画化されているが、医療提供は体制のみで、提供支援のしきみが欠落している。とりわけ、自治体においては国民健康保険制度をどう「必要な治療を継続的に受ける」ことを支援する策がないのか。</p> <p>とりわけ、市町村国保は、小規模自営や高齢者など比較的所得の少ない層が加入する健康保険制度である。したがって、必要な治療を継続的に受けることに特段の支援がないと、疾患が重篤化する可能性が高まる。</p> <p>次のことを検討すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険料の見直し(応益負担をなくす) 現行制度は、単身者と他家族世帯の負担が重くなる</li> <li>・一部負担金減免制度の見直し、周知徹底 経済的困難で日常生活さえ大変なときに、安心して利用しやすい制度に</li> </ul>	<p>今後の事業を推進する上でのご意見として参考とさせていただきます。</p>

第2次所沢市保健医療計画(案)に対するご意見と市の考え方

No.	ページ	部	章	節	項目	意見（原文ママ）	市の考え方
9	85	2	2	1	生活習慣病対策	◆意見1 「特に脳卒中は寝たきり、認知症の大きな要因」という記述を「特に脳卒中は寝たきり、認知症、高次脳機能障害の大きな要因」にしてください。	脳卒中を要因とする疾患は寝たきり、認知症のほか、ご意見にあります高次脳機能障害もございます。ほかにも感覚・言語障害等さまざまな後遺症があることから個別の記載はいたしません。貴重なご意見として承り、今後の生活習慣病対策を進めてまいります。
10	92	2	2	2	精神疾患	◆意見2 認知症、若年性認知症、高次脳機能障害は、国際疾病分類第10版(ICD-10)で同じカテゴリ(F0:症状性を含む器質性精神障害)に分類され、器質性精神障害者としての支援対象です。行政的に別の名称がついていますが、医学的には同じ障害ですので、認知症だけでなく、高次脳機能障害のことについても触れてください。	精神疾患に関する現状について記載しており、疾患名については個別の記載はいたしません。貴重なご意見として承り、高次脳機能障害は精神障害に含まれている考えに基づき、他の精神障害と同様に実施してまいります。
11	94	2	2	2	(1)認知症	◆意見3 認知症、若年性認知症、高次脳機能障害は、医学的には同じ障害ですので、認知症だけでなく、高次脳機能障害のことについても触れてください。また、「市の方向性」のところで「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進します。」と記し、このシステムの構築の中で、認知症、高次脳機能障害への支援体制を整備していくことを明確にしてください。	精神疾患に関する現状について記載しており、疾患名については個別の記載はいたしません。貴重なご意見として承り、高次脳機能障害は精神障害に含まれている考えに基づき、他の精神障害と同様に実施してまいります。